

平成30年11月21日

小鹿野町長 森 真 太 郎 様

小鹿野町政策審議会

会長 小 松 征 三

産業振興の活性化について（第1次答申）

平成30年3月22日付け、小鹿総第415号で諮問ありました、産業振興の活性化について別紙のとおり第1次答申をします。

答申書（第1次）

小鹿野町政策審議会は、町長の意思決定に際して専門的な立場から特別な事項を調査・審議する合議制の機関として設置されました。

小鹿野町は若者の流出、出生数の減少による人口減少、少子高齢化が進行するとともに、高度情報化や国際化の進展等の社会情勢の変化に加え、大地震や集中豪雨等による災害対策など多くの課題が山積しています。

特に人口減少が著しく、この人口減少のスピードを抑制するため、地域経済の再生、稼げる町を創生し、定住人口、交流人口を増加させるための施策を早急に講じる必要があります。

そのため、平成30年1月26日に委員の委嘱を受け、平成30年3月22日に、町長より「産業振興の活性化について」の諮問を受けた『地域経済再生のために産業振興施策』について、まちづくり、産業、教育、観光等の分野で6回の会議を開催し、審議を重ねてまいりました。

つきましては、審議途中ではありますが第1次として下記のとおり答申しますので、町長の政策決定の一助となることを望みます。

記

第1 短期的な視点

(1) 地域活性化に向けた取組

- ・一般財団法人小鹿野町振興公社を基盤とした、総合商社の役割をもつ株式会社小鹿野（仮称）を設立し、収益が望める産業関連業務を集約し、民間のノウハウにより事業展開を図る。

また、地域おこし協力隊を活用し、新規事業の展開を行う。

一般財団法人小鹿野町振興公社

- ・埼玉県山西省友好記念館（神怡館）指定管理 H29 まで⇒休館
- ・国民宿舎両神荘 管理
- ・秩父ミュージックパーク（サイクリングセンター、スカイトレイン、長尾根直売所）管理
- ・小鹿野鹿公園 管理
- ・道の駅両神温泉薬師の湯（両神ふれあいセンター）管理
- ・道の駅地域資源活用センター 管理
- ・道の駅農林産物直売所 管理
- ・毘沙門水の製造・販売

移行

株式会社小鹿野(仮称)

- ・公募によりCEO（最高経営責任者）を募集し、新株式会社の設立
- ・町有施設の現物出資
- ・現有施設を独立採算できる施設運営への転換
- ・観光、産業振興に関する事業展開

(2) 観光振興への取組

・観光の振興により、交流人口、関係人口の増加を目指し、定住人口に結びつけていく。そのため町として観光PRしていくには、現状の観光資源を総点検、整理をして多様な関係者と連携し、運営主体（DMO）を形成する。

観光施策としての意見を集約し、テーマをしぼり方向性を明確に示し、インターネット、ビジュアル化などあらゆる手段を駆使し情報発信をしていく。

日本版DMO形成

地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに地域への誇りと愛着を醸成する「観光経営」の視点に立った観光地域づくりのかじ取り役として、多様な関係者と協同しながら、明確なコンセプトに基づいた観光地域づくりを実現するための調整機能を備えた法人。

基礎的な役割・機能（観光地域マーケティング・マネジメント）としては、

- (1) 日本版DMOを中心として観光地域づくりを行うことについての多様な関係者の合意形成
- (2) 各種データ等の継続的な収集・分析、データに基づく明確なコンセプトに基づいた戦略（ブランディング）の策定、KPIの設定・PDCAサイクルの確立
- (3) 観光関連事業と戦略の整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーションなど

多様な関係者との連携

地域住民	<ul style="list-style-type: none"> ・観光地域づくりへの理解 ・町民ガイドの育成、実施
行政	<ul style="list-style-type: none"> ・観光振興計画の策定 ・プロモーション等の観光振興事業 ・インフラ整備（景観、道路等） ・文化財の保護・活用 ・観光教育 ・交通政策
商工会	<ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと名物の開発等
農林業	<ul style="list-style-type: none"> ・農業体験プログラムの提供 ・6次産業化による商品開発等
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> ・個別施設の改善等
飲食店	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の食の提供等
交通事業者	<ul style="list-style-type: none"> ・周遊企画乗車券の設定等

地域一体の魅力的な観光地域づくり
 戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション

観光客の呼び込み

観光による地域活性化

第2 長期的な視点

(1) 定住促進に向けた取組

・限られた財源で人口減少、少子高齢化社会において、住民の安心・安全を守るためには、行財政運営の効率化を進める必要がある。そこで、著しく人口が減少し、行政のサポートなしでは生活できなくなった高齢者等でも安心・安全な生活が送れるような仕組みを構築する。

その仕組みを運営するため公社・第三セクターを設立する。

公社 or 第三セクターの新規設立

高齢者が歩いて暮せるまちづくりのため、中心市街地に高齢者住宅を整備するとともに、生活拠点を整備するコンパクトシティ化を進める。

融 資

金 融 機 関

第3 その他

(1) 小鹿野町政策審議審議会の開催経過

本審議会は、平成30年1月から平成30年10月までに、6回の会議を重ね審議しました。

各会議の開催時期及び検討内容は次のとおりです。

■ 第1回小鹿野町政策審議会（平成30年1月26日）

議事(1) 会長の選出について

- (2) 会長職務代理者の指定について
- (3) 小鹿野町政策審議会の趣旨説明
- (4) 意見交換

■ 第2回小鹿野町政策審議会（平成30年3月22日）

議事(1) 会議録署名委員の指名について

- (2) 第1回会議録について
- (3) 政策審議会への諮問について
- (4) 今後の進め方について
- (5) 意見交換

- 第3回小鹿野町政策審議会（平成30年5月24日）
議事(1) 会議録署名委員の指名について
 (2) 第2回会議録について
 (3) 意見交換

- 第4回小鹿野町政策審議会（平成30年7月18日）
議事(1) 会議録署名委員の指名について
 (2) 第3回会議録について
 (3) 意見交換
 (4) 各委員からの提案について

- 第5回小鹿野町政策審議会（平成30年9月28日）
議事(1) 会議録署名委員の指名について
 (2) 第4回会議録について
 (3) 提案についての意見交換

- 第6回小鹿野町政策審議会（平成30年10月16日）
議事(1) 会議録署名委員の指名について
 (2) 第5回会議録について
 (3) 提案についての意見交換
 (4) 中間答申について

- 第7回小鹿野町政策審議会（平成30年11月21日）
議事(1) 会議録署名委員の指名について
 (2) 第6回会議録について
 (3) 中間（第1次）答申について